京都産業大学 総合生命科学部
バイオフォーラム 2011

京都産業大学
DAY 2011
社会へ、未来へ。

最先端の生命科学研究に触れてみませんか

第 5 回　10 月 5 日(水)開催　【開場】12:45～【開演】13:15～(60 分)

英語講演(通訳無し)

【講師】

カリフォルニア大学デービス校(UCD)
獣医学部教授・健康環境センター長

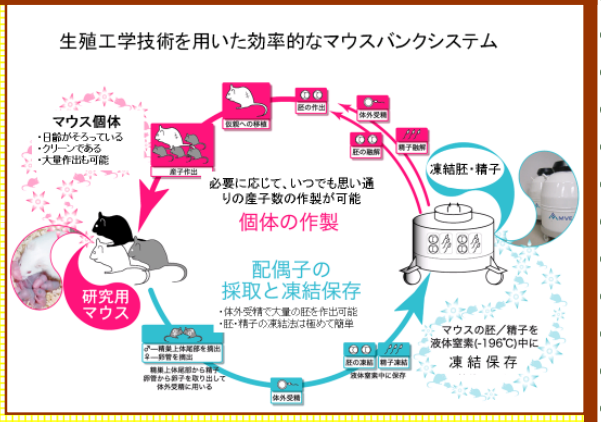
Kent E Pinkerton 教授

【演題】

「Health Effects of Inhaled Nanoparticles on Human Health: How Tiny Particles Might Affect the Nose, Brain, Heart and Lungs」

Ambient and engineered nanoparticles have incredible potential for uptake, transport and retention throughout the respiratory system. Fine and ultrafine particles and aerosols area found in a diverse number of settings may have respiratory, systemic and neurological consequences. To evaluate the potential risks of fine and ultrafine aerosols will require assessment of the dynamics between particle size, chemical composition, exposure potential and biological fate. This seminar will address each of these issues to address how we can better evaluate the potential health risk of airborne particles in the workplace and our environment.

第 6 回　10 月 7 日(金)開催　【開場】15:30～【開演】16:00～(60 分)



【講師】

熊本大学 生命資源研究・支援センター

中潟　直己 教授

【演題】

「マウスにおける生殖工学技術とその応用」

近年、遺伝子改変マウスが爆発的な勢いで増えており、その効率的な作製・保存・供給を行うために、様々な生殖工学技術が開発、応用されています。例えば、たった 1 匹の雄から得られた精子を凍結保存すれば、体外受精―胚移植により、1,000 匹以上の産子を作製することが可能になっています。しかしながら、その一方で、これら技術が必ずしも広く普及しておらず、災害時に備えた遺伝子改変マウスの胚・精子のバックアップ体制は、国内外を問わず、一部の施設を除いては、整備されていないのも、また、事実であります。そこで、今回のフォーラムでは、マウスにおける様々な生殖工学技術とその応用について紹介します。

●開催場所●　京都産業大学総合生命科学部 15 号館 15102 セミナー室
●お問合せ●　京都市北区上賀茂本山　京都産業大学総合生命科学部事務室　Tel.075-705-1466
●交　　通●　※キャンパス内に駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
地下鉄「国際会館駅」下車→京都バス（40 系統）で京都産業大学前下車
地下鉄「北大路駅」下車→市バス（北 3 号系統）または京都バスで京都産大前下車
●主　　催●　京都産業大学　総合生命科学部

事前申込不要・入場無料